

# 第5回教育委員会（定例）議事録

## 1 開 会

令和6年8月21日（水） 14時00分

## 2 場 所

市役所第2庁舎3階 2-301・302会議室

## 3 会議に出席した委員

教育長 丹後 政俊  
委 員 西田 正志  
委 員 鈴木 友美  
委 員 吉良 佳晃  
委 員 倉 眞智子

## 4 会議に出席した職員

学校教育部長 酒井 寛興  
こども未来部長 田中 正典  
学校教育次長 浅田 智広  
教育総務課長 山内 俊秀  
学校教育課長 小嶋 拓也  
学 事 課 長 荒木 敏文  
教育研究所長 足立 圭吾  
東部学校給食センター所長 井上 尚和  
西部学校給食センター所長 仁木 秀樹  
子育て企画課長 山鳥 有史  
保育教育課長 山田 康弘  
社会教育・文化財課長 田中 和哉  
中央図書館長 田中 真紀子  
市史編さん課長 小島 理三  
田園交響ホール館長 酒井 直隆  
中央公民館長 竹見 朋子  
教育総務課主査 北尾 真理奈

## 5 議事日程及び議案

別紙の通り

## 6 開会宣言

14時00分

## 7 会 期

（自）令和6年8月21日 （至）令和6年8月21日 1日間

## 8 会議録署名委員名簿

吉良佳晃委員

## 9 閉 会

15時04分

丹後教育長 全委員 丹後教育長	<p>日程第 1、令和 6 年度第 4 回会議録の報告、承認について意見等はないか。 異議なし。</p> <p>全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。</p>
丹後教育長	<p>日程第 2、会議録署名委員は、3 番吉良佳晃委員を指名する。</p>
丹後教育長	<p>日程第 3、会期は令和 6 年 8 月 21 日、本日 1 日間とする。</p>
丹後教育長	<p>日程第 4、議案に移る。議案第 10 号「令和 6 年度 9 月補正予算案を市長に提案することについて」、教育総務課に説明を求める。</p>
山内課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
西田委員 山田課長	<p>こんだ認定こども園の加配について、状況を教示願いたい。</p> <p>2 歳児クラスに支援の必要な園児が多いため 1 名を配置しているが、回らないのが現状である。また、それとは別に会計年度任用職員 1 名が 7 月末で退職したこともあり、園からの要望も踏まえ、予算要求した。</p>
西田委員 山田課長	<p>1 名が退職したとのことであるが人数的には変わらないのか。</p> <p>その通りである。フリーの先生を活用し、何とか対応いただいているが、支援が必要な園児については、やはり 1 名の配置が必要であり、その経費を予算要求している。</p>
丹後教育長 全委員 丹後教育長	<p>議案第 10 号「令和 6 年度 9 月補正予算案を市長に提案することについて」採決をする。異議はないか。</p> <p>異議なし。</p> <p>全員賛成で、議案第 10 号「令和 6 年度 9 月補正予算案を市長に提案することについて」は原案どおり可決する。</p>
丹後教育長	<p>日程第 5、報告事項に移る。報告 1「寄附採納について」、教育総務課に報告を求める。</p>
山内課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
丹後教育長	<p>報告 2「後援名義の承認について」、教育総務課に報告を求める。</p>
山内課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
丹後教育長	<p>報告 3「小中学校児童生徒の問題行動等について」、学校教育課に報告を求める。</p>

小嶋課長	《議案書に基づき報告》
西田委員 小嶋課長	夏季休業中に問題行動について、事務局へ報告は入っているのか。 現時点では特にはない。
丹後教育長	報告4「いじめ問題に係るアンケート集計結果（1学期）について」、学校教育課に報告を求める。
小嶋課長	《議案書に基づき報告》
倉委員 小嶋課長	相談場所に関し、学校外の相談機関とはどのような所か。 学校外の相談機関については、県が実施している電話での相談窓口、市教育委員会の教育研究所及び学校教育課、ゆめハウス等がある。
西田委員	「いじめられたことがある」との回答について、小学1年生が最も多く、中学年くらいから減っていくのがこれまでの傾向であったと思うが、今回の小学1年生は少ないと感じた。気になったのは、いじめの問題にあった時に誰にも相談しないと回答した中学生が今年はさらに増えている。発達段階的なこともあり、仕方ないのかもしれないが、方策を講じることができるのか。
小嶋課長	この人数が増えていることは課題である。相談できる、相談しても良いということを常に担任や養護教諭から児童生徒に伝えている。また、スクールソーシャルワーカーも相談できる相手であり、相談することの大切さを市内の小学校や中学校で出前授業をしている。なお、相談しないと回答した児童生徒については、個別にその理由を聞き取り、その時に相談しても大丈夫であることを伝えている。
西田委員 小嶋課長 西田委員	アンケートは記名か、それとも無記名でもよいのか。 記名で行っている。 記名であるので個別に対応できると理解した。
小嶋課長	いつもより、小学校1年生が少ないのはどういうことからなのか。 前年度同学期実人数70人が35人になっているが、その理由は把握していない。
丹後教育長	理由が分かれば、それを伸ばせば良いので、注視していく。
丹後教育長	報告5「令和6年度全国学力・学習状況調査（4月18日）の結果について」、教育研究所に報告を求める。
足立所長 倉委員	《議案書に基づき報告》 生活習慣や学習環境等に関する調査の状況で、自分力の箇所を見ると、「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」との質問が気になった。睡眠時間と起床時間は生活リズムであり、そのことが朝食にもつながる等、全てが関連していると思うが、これを聞いてどのような意味があるのか疑問である。

足立所長	朝食や睡眠リズムを自分力と捉えて項目に含んでいるのは、市教育委員会として考えているものであり、ご意見を参考にふさわしい項目があるのかを検討していきたい。なお、朝食や睡眠に関する調査については、小学校低学年、幼児へ毎年実施しており、保護者への啓発の意図もある。
吉良委員	少人数ならではの丹波篠山市の教育を生かした時に、少人数であるがゆえにこの項目はこれくらいの数値が高めに出るのではないかという推測と、結果が予想以上に異なった項目等はあるか。
足立所長	毎年、学校毎に数値が出てくるが、小規模の学校であるから、このような結果、傾向が続いているということはない。やはりその学年毎の状況によって変わってくると捉えている。丹波篠山市は小規模校が多いので、大規模校の傾向の把握は難しいが、学校毎、集団毎の特徴は表れている。
西田委員	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」との質問について、昨年度は小学校において全国より数値が低く、ショックを受けたが、今年の数値が戻ったようであるとともに、中学生は元々、数値が高くとても良いことであると感じた。朝食については、以前から丹波篠山市は食育に力を入れており、全国と比べ、非常に数値に差があったが、最近は全国の数値と変わらない。これは家庭環境が変わってきたこともあり、仕方ないことかもしれないが、市として、全国数値を下回らないよう尽力いただきたいと思う。最後に、「新聞を読んでいるか」との質問については、ネットニュースを見る人も多く、新聞をとっていない家庭も増えている中、無意味ではないかと感じる。
足立所長	質問選択について検討する。
丹後教育長	報告6「令和6年度8月小・中・特別支援学校定例校長会について」、学校教育課に報告を求める。
小嶋課長	《議案書に基づき報告》
西田委員	今、定年は何歳か。
小嶋課長	今年度は61歳、来年度は62歳である。
西田委員	61歳で定年退職される方については、加算があるとの認識でよいか。今年度は60歳で退職した場合は勸奨になり、定年退職ではないとのことか。
小嶋課長	記載のとおりである。
西田委員	退職する人にとっては、勸奨があり、加算があることは重要である中、60歳で退職する人から、なぜ加算がないのかと問われた時に根拠を持って答えなければいけない。問われた際には、しっかりと説明ができるようにされたい。
小嶋課長	県にも確認して、対応できるようにする。
倉委員	資料1頁と2頁で、年齢表記の漢字が「歳」、「才」になっているので、統一されたい。

丹後教育長	報告7「令和6年度第1学期学校給食異物混入状況について」、学校給食センターに報告を求める。
井上所長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告8「新生児誕生祝品「丹波篠山 森からのおくりもの」について」、子育て企画課に報告を求める。
山鳥課長	《議案書に基づき報告》
西田委員 山鳥課長	新聞社へ取材依頼をしているか。 今後、会場は丹南子育てふれあいセンターで、時間設定し、プレス発表を行う。
西田委員 吉良委員	積極的にPRし、喜んでいる親子の写真が新聞掲載されることを期待する。 実際に子どもたちがどのような木が使用されているのかを見る機会はあるのか。
山鳥課長	積み木に使用木材の刻印ができればよかったが実現できなかった。使用木材がこれである等及び実際に見ることは出来ない状況である。
吉良委員 山鳥課長	木育の観点からも、どこかで触れる機会があったらよいと思う。 この積み木を通じ、木育の推進に取り組んでいただけるよう検討していく。
丹後教育長 山鳥課長	アンケートも実施するのか。 箱の中にアンケート用紙を入れている。初めての取組であり、満足いただけたか、木のぬくもりを感じられるか、他の玩具がよいのか等の質問や提案を記入いただく。回答結果によっては、贈り物の変更も検討していく必要があると考えている。
丹後教育長	報告9「全国アマチュア映像コンテスト「第36回丹波篠山映像大賞」作品募集について」、中央図書館に報告を求める。
田中館長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長 田中館長	テーマを変更した理由は何か。 丹波篠山国際博開催がきっかけであり、市長提案によるものである。
丹後教育長	報告10「教育長報告」について報告する。 前回の定例教育委員会以降のスケジュールについては24～25頁に記載している。 8月の校長会では、アンコンシャス・バイアスについて話した。脳が持つ機能として無意識の偏見が誰にもあり、そのことに気づくことが大事である

と考える。資料中の四角囲みに記載している文章において、海外の有名な脳外科医と聞くと、男性を想定しがちだが、このケースは女性であるということ。校長会でも多くの人が知っており、変ではないと言っていたが、知っていれば、アンコンシャス・バイアスを防げることを伝えたかった。様々なことを知る必要があるということである。わたしたちにできることは、アップデートし続けることであり、自分の経験や知識を見直し、絶えず入れ替えることが大切である。そのためには様々な研修へ行き、学ぶ必要があると思う。特に学校全体を任される管理職においては、アンコンシャス・バイアスに気づく目を持っておくことが必要である旨を伝えた。また、心理的安全性が高い職場をつくってほしいと思う。特に多様性については、アンコンシャス・バイアスを防ぐとともに、いじめの防止等にも重要であり、自分とは違うタイプの存在を認めていくことの大切さを伝えた。

以上で、本日の審議は全て終了する。

これをもって、第5回定例教育委員会を終了する。